



## かっぱと親しむ清流の里づくり

県南広域振興局花巻総合支局遠野土木センター

去る10月21日（土）、かっぱと親しむ清流の里づくりの集いが行われました。



この行事は、民話の里・遠野では身近な存在だったカッパを河に呼び戻すために、きれいな川をつくらうとの趣旨で企画しました。遠野の代表的な川である猿ヶ石川の源流に近い大出・小出・大野平地区にある「早池峰交流館」で、川づくりやカッパについて学び、話し合いました。

当日は見事な秋晴れで、まるでカッパが喜んで出てきそうでした。紅葉がきれいな山道の中、参加者の足取りも軽く、あっという間に早池峰交流館の座敷はいっぱいになりました。地域住民を中心に、遠野市外の方からも参加を頂き、総勢55名の集いとなりました。

地域の方々の和やかな雰囲気の中、有名な語り部の「いろり火の会」工藤さのみさんから民話の語りを聞きました。「むかしあつたずもな」で始まり、「どんどはれ」で締めくくる遠野伝統の語り方です。まず、今回の集いの主題にもなっているカッパに関する地元の民話を2編、出てくるカッパはひょうきんで憎めない感じで、それに対する昔の人もおおらかです。「カッパはキュンという音のおならをする」「カッパは胡瓜の他に桐の花が好物」といったカッパ雑学の後、地元で伝わる民話を語ってもらいました。こちらもの話も「大雨を降らせて地元の人を困らせた池の主の大鰻」といった河川が密接に関わる話で、昔からの人と河川の関係の大切さを学びました。工藤さんの柔らかく巧みな語りにより、皆さんが聞き入っていました。



語り部の後は、地元の大出早池峰神楽保存会の神楽を觀賞。時に緩やかに、時に激しく打たれる太鼓の拍子に乗って、保存会の方が優雅な舞を見せてくれました。

その後、交流館を出て、雄大な老木が傍らに立つ石段を登って早池峰神社の境内に移動し、神社の佐々木まゆみ宮司に河川の安全祈願をしていただきました。祈祷の後は宮司さんから早池峰神社にまつわる水上様について拝聴しました。

冷たくなった秋の風が吹く山道を歩いて早池峰交流館に戻り、暖かい館内で皆で昼食をとりました。昼食は、地元の方が取って来てくれた山の幸、キノコを調理したキノコ汁です。食べながら、川についてのビデオを觀賞し、そのまま川づくり座談会として、きれいな清流の里づくりのためのワークショップを行いました。大出ダムのことなど、住民の方々からはより良い川づくりのため貴重な意見が出されました。

午後はマイクロバスに乗って、河川清掃活動  
をしながら河童ゆかりの地を見学しました。案  
内人は、遠野物語研究所の高柳俊郎さんです。  
九州に多いと言われるカッパがどうして遠野  
で有名になったのか、カッパ研究家の歴史等を  
講義の後、出発しました。行き先は、カッパの  
伝承地上柳、かっぱ淵、太郎淵です。それぞれ  
の場所が溪流、清流、池と様子が違うのですが、  
どの場所でもカッパが出て来そうな雰囲気  
を漂わせていました。参加者の



皆さんも本当にカッパが出るかもしれないと  
注意深く見学していました。現地にまつられて  
いるカッパも、木彫りのものから石造りのもの、  
果てはカッパ狛犬というものであつて、遠野  
の人々とカッパの関わりをの深さを伝えてくれま  
した。



地元関係者の方々の暖かい協力、そして何よ  
り参加いただいた方々の熱意のおかげで、集い  
は大盛況のうちに終了しました。感激冷めやら  
ない住民の方からは、来年も実施してほしいと  
のお言葉までいただきました。

集いの合間や午後の見学先では、カッパ（遠  
野市のマスコット「カリンちゃん」）が現われ、  
周囲に愛嬌を振りまいていました。きれいな川  
を作ろうとする人たちをみて、出てきてくれた  
のかもしれない。



問い合わせ先

遠野土木センター TEL0198-62-9938